

# データ作成用テンプレートについて

※お客様の商品に適したテンプレートをご使用ください。  
テンプレートは、無線とじor中綴じ、表紙or本文、見開きor単ページでサイズが変わります。

## ■テンプレートの使い方 & データ作成時の注意点

※四角形の一番外側のガイド枠＝「塗り足し」の領域になります。

背景の線や画像の色が仕上り枠いっぱいである場合、オブジェクトはこの領域まで作成してください。

※四角形の真ん中のガイド枠＝「仕上りサイズ」の領域になります。

データの印刷後、この枠の位置で断裁して製本サイズにしますので、周囲のオブジェクトは裁ち落されます。

※四角形の一番内側のガイド枠＝「見切れ防止の目安」になります。

断裁時には必ず若干の誤差(ズレ)が出ますので、見切れて困る文字や絵はこの線より内側に配置してください。

※見開きデータの場合、中央の塗り足しは不要です。また表紙データの見開きは左右の位置にご注意ください。

左綴じなら、中央から右が表1(表紙)、左が表4(裏表紙)になります。右綴じでは逆になります。

本文データを見開きで作成の場合は、左右の位置関係は見たままになります。

※無線とじの表紙用の見開きテンプレートで、中央にある3本の縦方向ガイドは、背表紙の幅になります。

中綴じの場合、また無線とじの本文の場合は、見開きデータでも背幅(背表紙の幅)の計算は不要です。

断裁時には必ず若干の誤差(ズレ)が出ますので、表1・背・表4の隣接面で大きく色が変わるデザインはご注意ください。

※データが完成したら、次の処理を行って別名保存したデータをご入稿ください。

テキストオブジェクトは全て「アウトラインを作成」してください。文字化け・フォントの置き換わり等を防ぎます。

リンク画像は埋め込みにし、ラスタライズ処理を行って下さい。リンク切れによる画像の抜け漏れ防止や容量の最適化が出来ます。